

計算力学技術者 1 級問題集（振動分野）2018 年度版（第 5 版）解説の追加

P.	項目	現行	修正（解説追加）
166	問 2-21	問 2-20 の解説を参照。また分数調波共振，高調波共振の定義の問題である。	(a)は問 2-20 の解説を参照。 (b), (c)は分数調波共振，高調波共振の定義の問題である。問題文の最後にあるように「副共振で振幅が大きくなる成分の角振動数は線形近似した系の固有角振動数に近い」という性質がある。即ち (ω/n) が ω_n に近いときが分数調波共振， $(n\omega)$ が ω_n に近いときが高調波共振である。